

第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

タカネママコナ

Melampyrum laxum var. *arcuatum*

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. タカネママコナ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Melampyrum laxum* var. *arcuatum* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

タカネママコナ

Melampyrum laxum var. *arcuatum***カテゴリー判定結果** 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 基準 E

100 年間の絶滅確率が 10%以上。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

【形態】

ミヤマママコナに似るが全体的に小型。苞は狭披針形で細く、花は黄白色。

【生活史】

1 年草。

【生育環境】

亜高山帯に生育する。

【分布域】

秩父山地、八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、鳳凰山に分布。

現在の生育状況

【生育地の現況】

2018 年調査では 2 メッシュで計数百個体の現存が推定された。基準 E により VU とした。

現地調査の集計結果 2018 年調査

【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
0	0	0	2	0	0	2	0	0

【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番目	2 番目	3 番目
要因 シカ食害	自然遷移	石灰採掘
件数 2	2	1

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	タカネママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcuatum</i>	VU
第4次 2019:	タカネママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcuatum</i>	VU
第4次 2018:	タカネママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcuatum</i>	VU
第4次 2017:	タカネママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcuatum</i>	VU
第4次 2015:	タカネママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcuatum</i>	VU
第4次:	タカネママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcuatum</i>	VU
第3次:	タカネママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcuatum</i>	VU
第2次:	タカネママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcuatum</i>	VU
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

群馬県[準絶滅危惧(NT)] 埼玉県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 山梨県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 長野県[準絶滅危惧(NT)] 静岡県[要注目種(N-Ⅲ部会注目種)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2017. 改訂新版日本の野生植物 5. 474pp., 284pls. 平凡社，東京.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Melampyrum laxum var. *arcuatum* has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Melampyrum laxum* var. *arcuatum* is listed as VU under criteria E.
E. Quantitative analysis showing the probability of extinction in the wild is at least 10% within 100 years.

Threat types:	Deer feeding damage, Natural succession, Limestone mining
---------------	---

Law designation status for conservation	—
---	---

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月